

「自律、協働、創造し 未来を築く豊中生」の育成

本日は、豊見城中学校のホームページにアクセスしていただきありがとうございます。

本校の歴史は古く、1948(昭和23)年4月に、豊見城村(当時)初の中学校として開校し、今年度(令和7年度)で78年目を迎えます。古くから農業の盛んな純農村地帯であった本市は、復帰を堺に隣接する那覇市のベッドタウンとして急速に都市化が進み、人口も増加の一途をたどる中、2万4千名余の卒業生を送り出し、県内外はもちろん、広く海外のあらゆる分野において活躍していることは、誇らしく心強く思います。

学校は、生徒一人一人が、将来、夢を実現し、なりたい自分になり、幸せになるために必要な力をみがく場所だと考えています。そのために本校は昨年度(令和6年度)から、学校教育目標を「自律、協働、創造し 未来を築く生徒」と改定し、生徒一人一人に寄り添い、「確かな学力」を保障し「豊かな社会性」を引き出せるよう一人一人にあった適切な支援・指導に努めているところです。

本校は、基本的な生活習慣を身につけ、目標を持って学習や部活動に積極的に取り組んでいる生徒が多い学校です。安心・安全な学校を土台に、全校生徒975名一人一人の持っている良い所や可能性を伸ばしていくことを目指し、保護者や地域の想いを受け止めながら全80名の教職員で一丸となって教育活動に取り組んで参ります。

保護者・地域の皆さまには、日頃より、「自分達の学校」という想いのとも本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今後とも、本校の教育活動に対するご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年4月

豊見城市立豊見城中学校 校長 島袋 篤